



あいさつ ひとつに

毎朝、校門で登校してくる児童生徒と交わす「あいさつ」は、一人ひとりと気持ちのやり取りができる大切な営みです。「あいさつ」を交わすのは子供たちだけではありません。登校の引率をしてくださる保護者様には「ありがとうございます」とあいさつします。出勤途中や登校中のイギリスの方々には「Good morning.」とあいさつしています。短いあいさつを交わすだけで、毎日の積み重ねによって、たくさんの人とつながることができていると感じています。

子供たちの中には、わざわざ立ち止まって丁寧に一礼する子、私が気付くまで何度も声をかけてくれる子、静かに目を合わせて控えめに伝えてくれる子など、その姿は実にさまざまです。ある日は、上級生が少し緊張した様子の下級生にやさしく声をかけ、一緒にあいさつをする場面も見られました。

こうした姿から、子供たちが自分だけでなく相手を大切にしながら関係を築こうとしていること、そして学校全体に温かなつながりが広がっていることを日々実感しています。

この「あいさつ」は、本校の合言葉である「自立・貢献・気品」とも深く結びついています。

自ら進んで声を出す姿は「自立」の表れであり、相手に心に向けて交わすあいさつは周囲を明るくする「貢献」にもつながります。また、相手を思いやり、場にふさわしい態度であいさつする姿は「気品」を感

じさせます。日々の何気ない一場面であるあいさつひとつに、この三つの価値が確かに息づいていることを、大変うれしく思っています。

日々の生活の中で見られる「学校に来る」「授業に向かう」「友達とかかわる」「元気に過ごす」といった姿は、一見あたりまえのようであり、決してあたりまえではありません。

それぞれの子供が、その日の気持ちや体調、環境の中で折り合いをつけながら努力を重ね、実現している尊い姿です。

時には思うようにいかない日もある中で、それでも学校に足を運び、前を向こうとする一歩一歩は、その子にとって大きな価値をもっています。「できるようになること」だけでなく、「すでにできていること」にも目を向け、認め、伝えていくことが、子供たちの自信や意欲を育み、さらなる成長へとつながっていきます。

あいさつによって生まれるつながりと、日々の「あたりまえ」を大切にするまなざし。この二つを基盤として、本校では「誰もが」「安心して」「豊かに」学校生活を送ることができる環境づくりを、これからも大切にしていきたいと思います。子供たち一人ひとりが、自分らしくいられること、そして互いの違いや良さを認め合えることが、豊かな学びの土台になると考えています。

今後とも、学校と家庭が信頼関係のもとで連携しながら、子供たちの成長を共に支えていけますよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

= ロンドン日本人学校ニュース（5月の様子） =

本校の合言葉「自立・貢献・気品」を日々の生活の中で体現しています。

それぞれの場面で見られた姿をテーマ別に紹介します。

◆自立



小学部1年生の水泳学習では、自分で着替えて準備を整えました。安全についての指導をよく聞き、水泳学習に主体的に取り組む姿が見られました。



中学部で行った安全防犯教室では、イーリング地区を担当する警察官からロンドンにおける犯罪の傾向や身を守るために大切なことを聞きました。命を守る意識を高め真剣に学びました。

◆貢献



小学部で行われたフレンドリー遊びでは、6年生が中心となり活動を企画し、運営に取り組みました。今回の反省を次回に活かすことも学習です。



中学部生徒が、朝の清掃活動に取り組んでいます。児童生徒が登校してくる中、ゲートからの道にある落ち葉を集め、きれいにしてくれました。

◆気品



児童朝会では、小学部の児童が時間を守って集合し美しく整列していました。情報委員会の話をよく聞きクイズで盛り上がったあとは、司会の話を礼儀正しく聴く態度も見られました。